

(様式第2号)

## 地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和2年2月26日  
木曾地域振興局

提出区分		実績				
整理番号		16	課題区分		C	
実施機関		木曾地域振興局		担当課	所属 企画振興課	
事業名		広域連携推進事業			電話 0264-25-2212	
				E-mail	<a href="mailto:kisochi-kikaku@pref.nagano.lg.jp">kisochi-kikaku@pref.nagano.lg.jp</a>	
事業概要	目的 (目指す姿)	<p>○ 人口減少下においても、医療、教育、地域交通などの基本的な生活基盤や経済活動基盤が維持され、人々が「木曾らしい」上質な生活を安全に営むことができる地域であり続けられる圏域を目指す。</p> <p>○ 観光、商工業、農林業等の産業振興や移住・定住促進策の推進、地域の魅力の情報発信等により、人、もの、情報の交流が広がる活力ある圏域を目指す。</p> <p>○ 新たな広域連携により定住の受け皿を形成し、各町村の総合戦略で示されている人口(2035年の圏域人口20,797人)を達成することを目指す。</p>				
	現状と課題	<p>(1) 恵まれた地域の資源・特性を最大限に活かした活力ある地域をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当圏域は、豊かな森林や清らかな河川などの豊かな自然、中山道の宿場を中心とした歴史的・文化的資源に恵まれているが、人口減少の進行に加え、平成26年に発生した御嶽山噴火災害の影響もあり、地域の活力の維持・増進が課題となっている。</li> <li>・将来にわたり安定的に自立できる地域社会を目指し、交流人口の増加や移住・定住促進、豊かな自然や伝統技術を活かした地域振興等、各町村が共通する課題に一体となって取り組んでいくことが求められている。</li> </ul> <p>(2) 限られた行政資源で最大の効果を発揮させる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当圏域は、65歳以上の人口比率が県内10圏域中で最も高く、今後更に進行する人口減少社会において高齢化や人口の低密度化等により行政コストが増大する一方で、施設や人材等の活用できる行政資源が限られてくることが想定される。</li> <li>・今後、地域課題に対応し、行政サービスを持続的、効果的に提供するためには、各町村の資源を有効に活用する観点からも、町村間の連携により提供することを、これまで以上に柔軟かつ積極的に進めていく必要がある。</li> </ul>				
	内容 (変更後の内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業用物品作成</li> <li>・セミナー参加</li> </ul>				
	事業期間	平成31年4月		～	令和2年2月	
	成果目標 (成果指標)	木曾広域自立圏連携ビジョンの進捗度				
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容		実績額	備考	
	事業用物品作成	テーブルクロス、垂れ幕の作成		80,520		
	セミナー参加	市町村間連携促進セミナーへの参加		46,280		
	合計				126,800	
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーブルクロス、垂れ幕を各1枚作成</li> <li>・市町村間連携促進セミナー(12月12日)に参加</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで無かった木曾地域をPRするテーブルクロス、垂れ幕を作成し、移住相談会等において活用できるようになった。</li> <li>・専門家の講演や他県の事例紹介など市町村間連携促進の参考となる内容のセミナーに参加した。</li> </ul>		<input type="radio"/> 期待以上 <input checked="" type="radio"/> 期待どおり <input type="radio"/> やや下回る <input type="radio"/> 期待以下	
今後の方向性	目標達成に向け、引き続き、観光、商工業、農林業等の産業振興や移住・定住促進策の推進、地域の魅力の情報発信等取り組む。					